

心をひとつに 訓練で磨いた技を競う

第27回日野町消防団ポンプ操法訓練大会

7月16日(月)、台風4号の影響で1日延期となりましたが、必佐小学校グラウンドで「第27回日野町消防団ポンプ操法訓練大会」が行われました。この大会は、消防団員の士気の高揚と消防技術の向上を目的に毎年この時期に開催され、迅速、安全、的確に消防ポンプなどを扱う消防活動を行うための基本技術を競います。

消防団員の皆さんは、優勝を目指し約1か月間、早朝から訓練に励んでこられました。本番では、チームが心をひとつにして訓練の成果を発揮し、見事なポンプ操法を披露されました。どのチームも終わった後は、やり遂げた満足感でいっぱい表情をされていました。

この大会を通して得た操法技術と団員同士の団結は、今後、地域の防災活動に活かされることでしょう。

優勝チームの皆さん、おめでとうございます。



【小型ポンプの部】優勝：第1分団
▲左から濱崎知也さん、仲上裕博さん、市岡芳文さん、藤岡健さん



【ポンプ車の部】優勝：第1分団鎌掛
▲左から長秀紀さん、岡吉輝さん、岡保和さん、奥村治男さん、岡長司さん

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

夏真っ盛り、

62年前の夏も

青い空に白い

入道雲が沸き

立っていたの

でしょうか。

8月といえば

広島、長崎へ

の原爆投下を

忘れてはなりません。

「ノーモア・

ヒロシマ、ノーモア・

ナガサキ」

は、核兵器廃絶をめざす世界の誓

いです。

前防衛大臣が「原爆投下はしよ

うがなかった」と発言し、国民の

間に大きな怒りが広がりました。

同時期河野洋平衆議院議長が「今

のような歴史観を欠いた乱暴な政

治」とコメントされましたが、従

軍慰安婦問題や沖縄での集団自決

問題など「あった事をなかった事」

にしようとする動きに警鐘を寄せ

られたものと思います。歴史に真

摯に向き合うことこそ大切だと思

います。

広島市の平和記念公園の記念碑に

は「安らかに眠って下さい。過ち

は繰り返しませんから」と記されて

います。戦争への深い反省が込め

られています。今年も平和憲法が

施行されて60年の年、2度と戦争

の過ちを繰り返ささないために、

しっかりと過去の歴史と向き合う

ことが必要だと思います。

ところで、こうした戦争を体験

した人たちは高齢者となられ、年

金を主な収入とされています。少

し前の地方新聞に「日野町は水道

料、固定資産税、町民税が一番高

い町」という投稿が掲載されてい

ました。水道料金は別にして、町

税の税率等は地方税法によって定

められており、基本的には市町村

間で変わるものではありません。

しかし、「日野町は税金が一番高

い町」と思われるほどに重税感が

あるのだと思いました。「広報ひ

の5月号」でお知らせしましたが、

税源移譲により住民税が増加(所

得税が減り住民税が増えるが差し

引きは変わらない)するとともに、

65歳以上の方の高齢者非課税措置

の廃止、定率減税の廃止によって

かなりの増税になっていることは

間違いありません。

貧困化が進む中で格差社会の是

正は急務です。「税金を誰がどれ

くらい負担するのか、使いみちは

どうか」は政治の根本だと思いま

す。高齢の方、障害のある方、所

得の低い方など社会的に弱い立場

の方に温かい社会こそ、みんなに

優しい温かい社会だと思えます。

心して肝に銘じたいと思えます。